

# チェルムスフォードの風 in 2017

(4日目)

今日は、チェルムスフォードを離れ、ケンブリッジに出かけました。お天気は曇り、昨日よりは暖かい気がします。昨日の失敗と一昨年 of 凍えるような寒さの経験から少し厚着をした身には、少し暖かすぎるくらいです。9時に集合、遅刻者なし。が、しおり（日々の記録を書く）を忘れてきた人3名！遊び気分が勝ったようで、困ったものです。約1時間田園風景が広がる中バスに揺られ、ケンブリッジに向かいます。バスの中でお互いに英語で話そうとする生徒もいて、その頑張ろうとする姿勢は嬉しい限りです。

ケンブリッジでは、まずニュートンが設計したという伝説（実際は違う）の“数学橋” (mathematical bridge)を見学。木製の素敵な橋です。次に向かったのが、コーバス・クリスティ・カレッジ、そして、セント・キャサリン・カレッジ、そして、ヘンリー6世が作ったキングズ

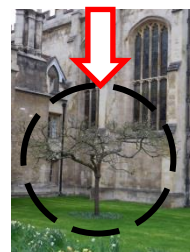


カレッジ。ここには、世界的に有名なゴシック様式のチャペルがあります。サグラダ・ファミリアに次ぐ大きさとか。そして、20人以上のノーベル賞受賞者を輩出したトリニティカレッジ。校門の横



には、このカレッジの卒業生のニュートンが万有引力の法則を発見したと言われているりんごの木がありましたが、どうやら真実ではないようです。

“Winnie the Pooh”の作者もこのカレッジの卒業生です。初版本が所蔵されているそうです。次にセント・ジョーンズ・カレッジの中に入りました。教授や学生が暮らすこのカレッジは、古い建物と新しい建物が融合し、荘厳な印象を受けました。”Strictly private”の寮の階段は、石も木も磨り



減り、長い歴史を感じさせます。チャペルでは、クリスマスカロルの練習をしていて（この時期から!?!）、しばしその歌声に聞きほれました。溜息橋 (Bridge of Sighs) を見学し、カレッジを後にしました。パンティングまでの時間、昼食を兼ねた休憩です。生徒達はお昼を食べたり、オープンマーケット探索に出かけていました。この日は土曜日のせいか、とてもたくさんの観光客が来ていて、ごった返しています。休憩後は、パンティ

ング体験です。ケム川からカレッジの裏側を見学します。前からでは想像できないほど巨大な建物を楽しみました。生憎小雨が降り始めましたが、船頭さんの説明を聞きながら、多くの船が行きかうパンティングを楽しみました。私たちが乗った船は、訓練中の船頭さん（キングズカレッジ出身の秀才!）が道程の後半を操縦してくれましたが、舳先はふらつき、なかなか進まず、もう一艘とはみるみる離れてしまいました。無事帰着できるか、ドキド

キものでした。パンティングの後は、**Round Church** で、ケンブリッジの歴史を映画(日本語解説付き)で学びました。宗教とは切り離せないヨーロッパの歴史を実感しました。出発までの 45 分間、それぞれショッピングを楽しんだ後、チェルムスフォードに戻りました。バスの中でも元気におしゃべりに興じる生徒たち、イギリス生活に慣れてきたかな？明日はホストファミリーと過ごす日曜日。どんな体験をしてくるか、楽しみです。

